

# Flügelabend 2019

## ～ 未来へ羽ばたけ、大阪文化力 ～

2019年11月19日／ザ・シンフォニーホール | 主催(企画・制作・構成)：関西・大阪21世紀協会 協力：ザ・シンフォニーホール  
後援：関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、大阪観光局



関西・大阪21世紀協会  
専務理事 佐々木洋三

文化には、人々に感動を与え、創造性を刺激し、相互理解を深め、都市を活性化する力があります。文化庁が呼びかける「beyond2020」は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に全国津々浦々で魅力的な文化プログラムを展開し、海外からのお客様をお招きするとともに、地域活性化を促す運動です。

関西・大阪21世紀協会もこの呼びかけに呼応し、2016年から大阪版文化プログラムに取り組み、文化プログラムの課題のひとつである日本文化の海外発信にも応えてまいりました。

今回は、大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウスの協力により、関西を代表する二人のソプラノ歌手と、2020年に創立50周年を迎える関西フィルハーモニー管弦楽団(指揮：藤岡幸夫さん)の華麗な共演をお楽しみいただきました。

また、2019年は当協会が事務局を務めるアーツサポート関西の設立5周年にあたることから、助成を受けた方々の中から、関西・大阪を代表するアーティストたちが、ジャンルを越えて圧巻のパフォーマンスを披露しました。アーツサポート関西にご支援いただきました皆様、そして、日頃から関西・大阪21世紀協会の活動にご理解・ご協力いただいている皆様に、厚く御礼を申し上げます。

※Flügel(フリュージェル)はドイツ語の「翼」、abend(アーベント)は「夕べ」。文化で未来へ羽ばたこう!というメッセージを込めたもの。

### beyond2020への取り組み、日本文化の発信

#### 2016年 水都を寿ぐ【交響楽能】 East meets West



オーギュスタン・デュメイさん



山本章弘さん

世界的ヴァイオリニストのオーギュスタン・デュメイさん(関西フィルハーモニー管弦楽団音楽監督)による演奏に続き、ワンピース(ニコ・ロビン役)でおなじみの声優・山口由里子さんが語り部となり、関西フィルハーモニー管弦楽団(指揮：ギオルギ・ババアゼさん)と能楽師・山本章弘さんのコラボによる新作能『水の輪』などを上演しました。(2016年11月21日／NHK大阪ホール)

#### 2017年 大阪文化芸術フェスティバル2017 ～水都を寿ぐ【交響楽能】～



北村陽さん



ギオルギ・ババアゼさん



村上麻里絵さん

2016年の【交響楽能】の反響が大きく、再演しました。さらに、世界的に高く評価されている北村陽さん(チェロ)や石橋栄実さん(ソプラノ)を迎え、ハイレベルな演奏を世界に発信。国内外で活躍する村上麻里絵さんによるコンテンポラリーダンスなども上演しました。(2017年10月2日／NHK大阪ホール)

#### 2018年 Flügelabend 2018 ～未来へ羽ばたけ、大阪文化力～



春野恵子さん(左)、一風亭初月さん(右)



地主薫バレエ団

チャイコフスキーのバレエ『眠れる森の美女』のストーリーをなんと浪曲師が語り、一つの舞台上で洋と和の伝統芸能の魅力を伝える実験的な企画。地主薫バレエ団、春野恵子さん(浪曲)、一風亭初月さん(三味線)、藤岡幸夫さん指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団による高揚感溢れるパフォーマンスに、会場が興奮と感動に包まれました。当協会が支援する周防亮介さん(ヴァイオリン)や大阪コレギウム・ムジクム合唱団の演奏も披露されました。(2018年10月5日／NHK大阪ホール)



大阪コレギウム・ムジクム合唱団



周防亮介さん

# 二大ソプラノの共演

## 喜怒哀楽をテーマにオペラの名場面を

国内外で数々のオペラ作品に出演し、大阪音楽大学で後進の指導にもあたるソプラノ歌手の石橋栄実さんと並河寿美さん。この日は、藤岡幸夫さん指揮による関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏で、「喜怒哀楽」をテーマにそれぞれの感情を彷彿させるアリア(オペラの中の独唱曲)4曲と、デュエット2曲が披露されました。二人揃って舞台に立つことは珍しく、デュエットでは、軽やかな声質の石橋さんと豊かな響きの並河さんの個性の違いも楽しみ、会場はうっとりとした気分になりました。

いしばし えみ  
石橋栄実さん(ソプラノ)

喜

グノー：  
「ロミオとジュリエット」より  
"私は夢に生きたい"

ロミオに出会う前のジュリエットが歌う軽やかなワルツ曲。結婚を勧められても「私はまだ青春の中にいたい」と無邪気な乙女心を歌い上げる。

楽

J.シュトラウスII：  
「こうもり」より  
"公爵様、あなたのようなお方は"

召使いの女性が奥様の衣裳を借りてパーティに出かける。そこでご主人様に見つかるが、とっさに「私は女優よ」と嘘をついて笑い飛ばす。

大阪音楽大学音楽専攻科修了、大阪舞台芸術奨励賞をはじめ受賞多数。1998年ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル役で招聘出演。以来、新国立劇場での数々のオペラ作品や交響曲のソリストとして多数出演。大阪音楽大学教授、同付属音楽院院長。



## ビゼー：「カルメン」より"闘牛士"を演奏



ふじおか さちお  
藤岡幸夫さん

慶應義塾大学、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業、マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団を経て2007年より関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜夜11:30～)に出演中。

© SHIN YAMAGISHI



## 関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2020年に創立50周年を迎える。世界的ヴァイオリニストのオーギュスタン・デュメイさんが音楽監督、藤岡幸夫さんが首席指揮者、飯守泰次郎さんが桂冠名誉指揮者に就いている。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に出演中。

なみかわ ひさみ  
並河寿美さん(ソプラノ)

怒

プッチーニ：  
「トスカ」より  
"歌に生き、恋に生き"

歌手で敬虔なクリスチャンのトスカが、獄中で拷問を受けている恋人のカヴァラドッシの身を案じ、神の不条理な采配に強く抗議する。

哀

グノー：  
「ロミオとジュリエット」より  
"ああ!何という戦慄が…愛よ力をください"  
(ポイズンアリア)

ジュリエットはロミオに仮死状態になる毒を飲ませ、彼が目覚めたら一緒に暮らそうと企むが、心の中では激しい不安に襲われる。

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。第73回(平成30年度)文化庁芸術祭賞大賞をはじめ受賞多数。新国立劇場、兵庫県立芸術文化センター、びわ湖ホール、東京二期会などの主催公演に多数出演。大阪音楽大学特任准教授、東京二期会会員。

## 個性が際立つデュエット

ドリーブ:「ラクメ」より"花の二重唱"

色彩豊かなフランス音楽の美しさに加えて、インドを舞台にした異国情緒も加わった魅力的なデュエット。鳥がさえずり、純白のジャスミンが私たちを呼んでいると歌う。

ヴェルディ:「椿姫」より"乾杯の歌"

パーティの席で賑やかに歌われる"乾杯の歌"を、二人の華やかなソプラノ特別バージョンで披露。

披露



中学・高校生新聞部が  
取材に訪問

## 「ソプラノの歌声に終始圧倒された」



石橋栄実さん、並河寿美さん、佐々木専務理事へのインタビュー風景

四天王寺中学・高校、明星高校、京都府立菟道高校の新聞部員の皆さん(13名)が取材に訪れ、共同通信社のご協力、公演のようすを広く配信していただきました。

「今日のような大舞台に臨む心構えは?」という生徒の質問に、石橋栄実さんと並河寿美さんは、「まずは、(演目が)自分の身体の中をしっかり入るまで、たくさん練習すること。練習不足だと不



安や緊張が先立って、良い結果にならない。これは皆さんの試験でも同じ」(石橋さん)、「その前提として健康管理が重要」(並河さん)と応じ、「和洋のコラボレーションという企画をどう思うか?」「オペラの魅力は?」などの質問にも、丁寧に応えていました。

また、主催者である関西・大阪21世紀協会の佐々木洋三専務理事には、音楽イベント以外で、大阪を盛り上げるためにどんな活動をしているかを質問。佐々木専務はアートストリームや令和OSAKA天の川伝説などを紹介し、若い人たちの来場を促しました。今回の舞台を鑑賞した生徒たちは、「(二大ソプラノでは)歌声が顔の近くまで迫ってくるようで終始圧倒された。同じソプラノでも歌う人によって特徴があるのを知り、人間の可能性の大きさを感じた」と感慨しきりでした。

# 関西から世界へ羽ばたく アーツサポート関西5周年記念公演



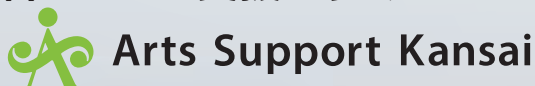
きくおう ゆうじ  
 菊央雄司さん  
 (邦楽演奏家)

「地唄は大阪が発祥で、平家物語を語る琵琶法師が三味線に持ち替えて始めたもの。私は現在、アーツサポート関西の支援を受けて、日本音楽の源流の一つである平家琵琶を大阪の地で保存復曲し、世界へ発信する活動をしています」

長谷検校記念第6回全国邦楽コンクール最優秀賞、文化庁奨励賞、2012年大阪文化祭奨励賞など受賞多数。大阪音楽大学講師、文楽研修生講師などとして指導にあたる。三味線、箏、胡弓、平家琵琶など、さまざまな和楽器を演奏。



## 皆さまのご支援が多くアーティストに力を与えています



### 5年間で寄付総額1億2千万円、助成件数120件

文化と経済は車の両輪、経済ばかりではなく芸術や文化がなければ人は生きてはいけない——。アーツサポート関西(ASK)は、大阪における芸術・文化の予算の低さを憂いた関西経済同友会が、2012年2月、イギリスの文化政策を参考に「大阪版アーツカウンシルの創設を」と提言\*したことはじまります。そして2014年4月、関西・大阪21世紀協会が事務局を担い、民間による文化支援機構「アーツサポート関西」が発足しました。寄付を集めて芸術・文化を支援するこの活動は、国内ではあまり前例のない関西発の先駆的な取り組みです。おかげさまで2019年までの5年間に、1億2千万円を超える寄付が集まりました。関西から世界に羽ばたくアーティストの発掘と育成に、平等を原則とする行政の支援策とは一線を画した、個性ある文化支援を行ってまいりました。

\*関西経済同友会 歴史・文化振興委員会(委員長 鳥井信吾氏:当時)「大阪版アーツカウンシル『タニマチ文化評議会』(仮称)の創設を」(2012年2月)

#### これまでのあゆみ

- 2012年2月 提言「大阪版アーツカウンシル『タニマチ文化評議会』(仮称)の創設を」を発表(関西経済同友会)
- 2014年3月 関西経済同友会が4年間の運営費支援を決定
- 2014年4月 アーツサポート関西 発足
- 5月 チャリティ・ファンレイジング・パーティ開催
- 8月 「そうだ文楽へ行こう!! ワンコインで文楽」支援開始
- 2015年2月 「上方落語若手噺家グランプリ」創設
- 9月 ASK寄付型自動販売機の導入(飲料売り上げの一部を寄付化する取り組み)
- 2016年3月 「ASKサポーター感謝のつどい」開催
- 2017年3月 「岩井コスモ証券ASK支援寄金」発足
- 8月 「ASK成果報告会2017」開催
- 2018年3月 「日本電通メディアアート支援寄金」発足
- 4月 サポーターズクラブ法人会員の受付開始
- 2019年6月 「古本 de 寄付」を創設(古本を回収し寄付化する取り組み)

上方舞  
松づくしうめもと うめみづき  
榎茂都梅弥月さん  
(上方舞榎茂都流師範)

「研究会では、毎月、先生方のお教をいただきながら、榎茂都流に伝わる舞踊譜を忠実に譜面に起こしています。私は子どもの頃から洋舞もしており、現在はダンサーとしても活動しています。これからも皆さんに楽しんでいただけるよう頑張ります」

榎茂都梅咲弥氏に師事し2002年名取。2014年ソウル国際舞踊コンクールEthnic Traditional Dance部門2位受賞。文化庁主催公演(東京・大阪)に出演。2017、2018年度のアーツサポート関西助成対象者に選ばれ、「榎茂都流型付研究会」を発足。



## 支援の一例

## そうだ文楽へ行こう!! ワンコインで文楽

文楽を若い世代にも親しんでもらおうと、大学生などを対象に500円で文楽本公演が観劇できる取り組み。京阪神ビルディング株式会社の中野社長(当時:写真右)の発案ではじまり、以後、岩谷産業株式会社(2016~17年)、丸一鋼管株式会社(2018~19年)へと支援のバトンが受け継がれています。



## 上方落語若手噺家グランプリ

寺田千代乃氏個人の支援のもと、若手の落語家に活躍の場を与えたいと桂文枝さん(上方落語協会前会長)らが中心となって2015年に創設。天満天神繁昌亭を会場に、予選を勝ち抜いた10人が決勝戦に臨みます。若手噺家の登竜門として定着し、チケットが売り切れる人気寄席となっています。



## チャリティ・ファンレイジング・パーティー

ASKのキックオフのパーティーを2014年5月に開催し、1,650人の方にお越しいただきました。会場(リーガロイヤルホテル大阪)の作品展示や演出は、世界的アーティストの名和晃平さんが担当。パーティーのチケット収入や寄付、オークションで約2,400万円が集まり、関西の文化支援に充てられました。



おおもり かな

## 大森香奈さん(マリンバ)

セゾルネ：  
マリンバ協奏曲より第1楽章

指揮：藤岡幸夫さん

オーケストラ：関西フィルハーモニー管弦楽団

「マリンバを叩く赤いマレットは、大森香奈モデルとして世界中で販売されており、多くの打楽器奏者に使っていただいています。アーツサポート関西5周年の記念に、指揮の藤岡幸夫さん、関西フィルハーモニー管弦楽団と共演させていただいたことを、とても幸せに思います」

大阪音楽大学大学院、ドイツ国立ミュンヘン音楽・演劇大学大学院修了。イタリア国際打楽器コンクール第1位。京都府精華町民文化賞受賞。5枚のアルバムをリリース。国内外で特別講義やコンサート活動、国際コンクールの審査員を行っている。ピンク色のマリンバは特注。



たにもと さあや

## 谷本沙綾さん(ヴァイオリン)

シベリウス：  
ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47より 第2・第3楽章

指揮：藤岡幸夫さん

オーケストラ：関西フィルハーモニー管弦楽団

「シベリウスは私の大好きな曲。それを素晴らしいホールで、憧れの藤岡幸夫さんや関西フィルハーモニー管弦楽団と共演できて幸せでした。今後は海外留学をして、関西に帰ってきたときには、多くの人の心を幸せにするヴァイオリニストになりたいと思っています」

第72回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位。小学5年生より8年間「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」に在籍。現在、相愛大学音楽学部特別演奏コース1年生に特別奨学生として在籍。



## ASKサポーターに感謝の花束を贈呈

アーツサポート関西を通して多大なサポートをしていただいている方々に、出演者より感謝の意を込めて花束が贈られました。(写真右より：花束を持っている人/山本雅弘氏〔毎日放送最高顧問〕、寺田千代乃氏〔アートコーポレーション名誉会長〕、池田博之氏〔関西経済同友会代表幹事、リそな銀行副会長〕、小嶋淳司氏〔がんこフードサービス会長〕、岩橋貞雄氏〔八千代電設工業会長〕)

